

| | |
|------|-------|
| 文書番号 | |
| 版数 | 第 1 版 |

環境活動レポート



2023年3月

***令和3年度(2021年4月～2022年3月)の実績値を基に作成**

目 次

| | | |
|---|-----------------------|----|
| ◆ | 笛吹市環境方針 | 2 |
| ◆ | 笛吹市の環境基本理念 | 3 |
| ◆ | 笛吹市の概要 | 4 |
| ◆ | 活動組織の概要 | 5 |
| ◆ | 令和3年度実施体制 | 6 |
| ◆ | 令和3年度教育訓練実施記録 | 9 |
| ◆ | 令和3年度の実績について | 10 |
| ◆ | 令和3年度環境関連法規への違反・訴訟の有無 | 13 |
| ◆ | 令和4年度教育訓練実施記録 | 14 |
| ◆ | 令和4年度の実績について | 14 |
| ◆ | 令和4年度笛吹市役所の環境活動計画・目標 | 15 |
| ◆ | 市長による全体評価と見直し結果 | 25 |

環境方針

本市は、地域の自然環境を保全し、地球温暖化の防止、循環型社会の構築を目指します。その目標達成のため、以下に定める方針に従い、全職員が行動します。

1. 市の環境施策をもとに環境保全活動を積極的に推進します。
2. 廃棄物の発生量を削減するため5R活動(リフューズ・リデュース・リユース・リペアー・リサイクル)を推進します。
3. 省資源、省エネルギー活動に取り組み、二酸化炭素排出量の削減に努めます。
4. グリーン購入、グリーン契約を推進します。
5. 環境教育を推進し、環境意識の高揚に努めます。
6. 環境関連法規制を遵守します。
7. 環境関連情報の提供に努めます。

この環境方針は、全職員及び本市に関連する要員に周知します。

また、一般市民にも積極的に公開します。

制 定 日 平成24年 5月 1日

改 定 日 平成28年11月14日

笛吹市長 山下 政樹

笛吹市の環境の基本理念

水・花・緑 彩り豊かな桃源郷

みんなで未来につなぐまち

笛吹市の環境基本理念は、第2次笛吹市環境基本計画にうたわれている環境保全・創造の基本理念、環境像を目指すものとしします。

◆笛吹市環境基本計画

この計画は、本市の目指す環境像を実現するための、環境に関する施策や具体的な取組について定めています。

目指す環境像の実現のために、行政だけでなく、市民や事業者、旅行者や滞在者を含め、市全体の協働による取り組み推進を図ります。

I. 笛吹市の概要

甲府盆地の中央部やや東寄りに位置する当地域は、盆地の北部や東部、南部の山岳丘陵地帯から流出する水系を集め、盆地中央部を南西に向かって笛吹川が流れています。笛吹川に向かって北西に流れる日川、金川、浅川、境川等の扇状地と盆地底部の沖積平野が広がり、山裾から平坦地にかけて果樹を主体とした農地が分布し、その背後には甲府盆地を構成する御坂山塊、その山間にほぼ西に流れる芦川に沿って点在する集落、及び秩父山地の丘陵と急峻な山岳地帯が広がっています。

このように、当地域は笛吹川に沿って広がる平坦地を中心に、南北の丘陵・山岳地帯に挟まれた比較的まとまりのある地形を有する地域です。

(参考: 笛吹市役所の座標 緯度:35 度 経度:138 度)



Ⅱ．活動組織の概要

(1) 自治体名及び代表者

山梨県 笛吹市

代表者 市長 山下 政樹

職員数 全職員 576 人 (令和 4 年 4 月現在)

人 口 67,945 人 (令和 4 年 4 月現在)

(2) 所在地

〒406-8510

山梨県笛吹市石和町市部 777 (本館)

※対象施設一覧は次ページに掲載

(3) 環境管理責任者

環境推進統括管理責任者：副市長

環境推進管理責任者：各部局長・各支所長

(4) 担当課及び連絡先

担 当 課 : 市民環境部 環境推進課

連 絡 先 : 電 話 055-261-2044

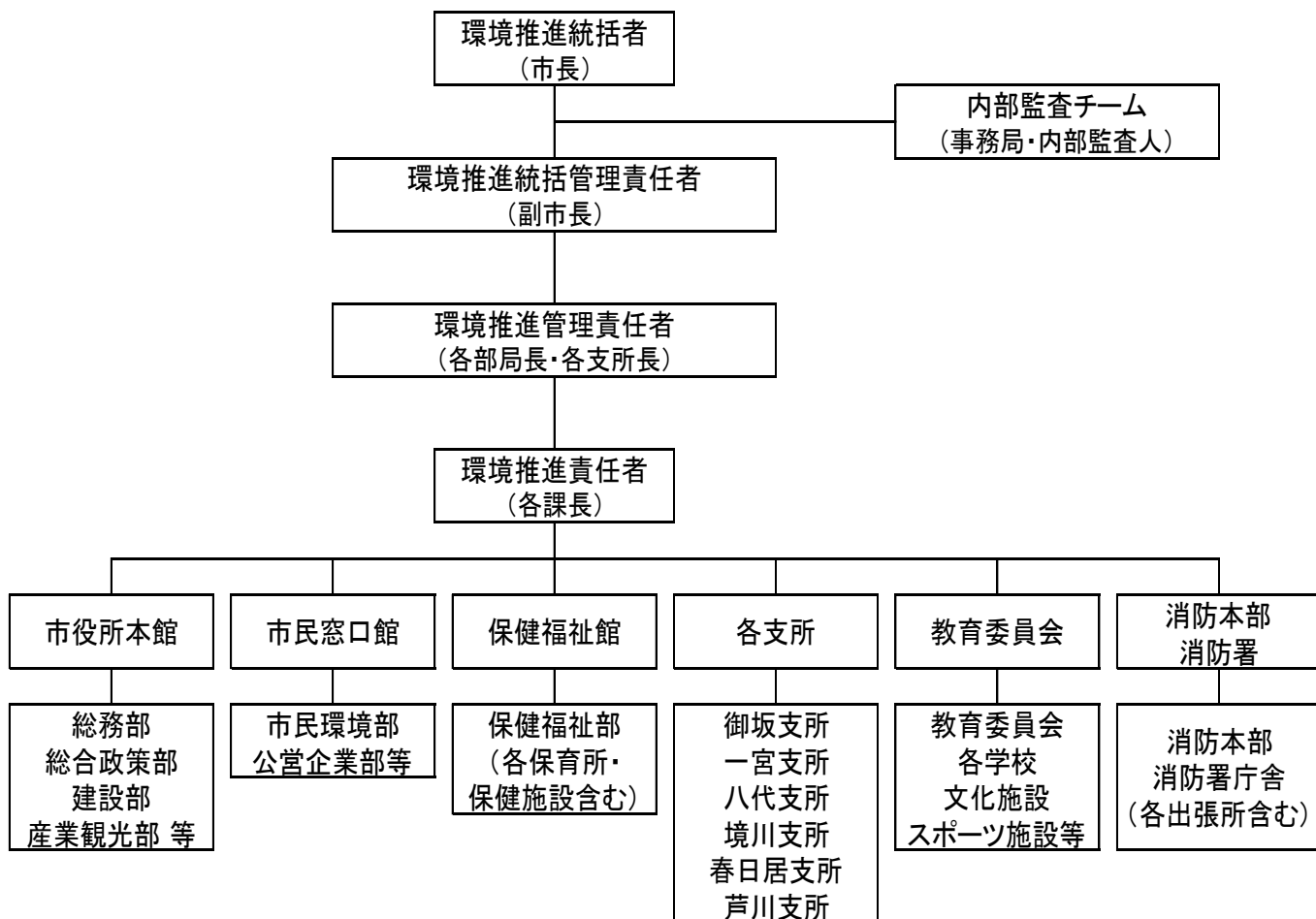
F A X 055-262-7646

(5) 事業活動の内容

- ・ 笛吹市役所における全ての行政事務
- ・ 笛吹市が管理する事務所及び施設等
- ・ 指定管理施設等

Ⅲ. 令和3年度実施体制

環境管理システムの実施体制の構築に関する責任者は、市長とします。本市の環境活動実施体制は、以下の「環境管理システム組織体系図」に示すとおりです。



令和3年度対象施設一覧

| 所管部局 | 施設 |
|-------|---|
| 総務部 | 本館、市民窓口館、分室 |
| 市民環境部 | 境川観光交流センター「寺尾の湯」 |
| 保健福祉部 | 石和第一保育所、石和第二保育所、石和第四保育所、八代花鳥保育所、かすがい西保育所、芦川へき地保育所、御坂葵保育所、御坂西保育所、御坂東保育所、保健福祉館、春日居福祉保健センター、芦川ふれあいプラザ、御坂福祉センター |
| 建設部 | 石和ふれあいゾーン、石和渋川水辺の公園、石和恵比寿公園、御坂路さくら公園、八代ふれあい運動広場、八代南ふれあい広場、八代浅川砂防公園、八代浅川河川公園、八代四ツ沢川砂防公園、一宮花見台公園、境川藤壘の滝公園、春日居温泉湧出記念公園、渋川排水機場、市営住宅9箇所（共有部分のみ） |
| 公営企業部 | 水道配水設備、春日居小学校耐震性貯水槽、春日居温泉足湯施設 6箇所（春日居駅前自転車駐車場含む）、農業集落排水処理施設 3箇所（上芦川、新井原・中芦川、鶯宿） |
| 御坂支所 | 御坂支所庁舎（学びの杜みさか電気量含む）、御坂中学校夜間照明、御坂西小学校夜間照明、御坂東小学校夜間照明 |
| 一宮支所 | 一宮支所庁舎、歴史文化公園、一宮中学校夜間照明、一宮南小学校夜間照明、一宮北小学校夜間照明、いちのみや桃の里ふれあい文化館倉庫（電気量のみ） |
| 八代支所 | 八代支所庁舎、八代小学校夜間照明 |
| 境川支所 | 境川支所庁舎（境川保健センター）、境川支所（旧庁舎）、境川小学校夜間照明 |
| 春日居支所 | 春日居支所庁舎（旧庁舎電気量含む） |
| 芦川支所 | 芦川支所庁舎 |
| 消防本部 | 消防本部・消防署庁舎、東部出張所（新）、西部出張所 |
| 教育委員会 | 石和図書館、学びの杜みさか（御坂図書館）、御坂農村環境改善センター、芦川ふるさと総合センター、八代郷土館、春日居郷土館・小川正子記念館、青楓美術館、多目的広場、石和南小学校（夜間照明含む）、富士見小学校（夜間照明含む）、石和西小学校、石和東小学校（夜間照明含む）、石和北小学校（夜間照明含む）、御坂西小学校、御坂東小学校、一宮西小学校、一宮南小学校、一宮北小学校、八代小学校、境川小学校、春日居小学校（夜間照明・春日居学校給食センター電気量・春日居柔剣道場電気量含む）、芦川小学校（夜間照明含む）、石和中学校（夜間照明含む）、御坂中学校、一宮中学校、浅川中学校、春日居中学校、御坂学校給食センター、一宮学校給食センター、八代学校給食センター、春日居学校給食センター、石和学校給食センター、あぐり情報ステーション |

令和3年度笛吹市指定管理者導入施設一覧

| 所管部局 | 施設 |
|-------|---|
| 市民環境部 | みさかふれあい交流センター（みさかの湯）、一宮健康増進施設（ももの里温泉）、芦川国民健康保険診療所、笛吹市クリーンセンター |
| 保健福祉部 | 八代福祉センター、春日居福祉会館（やまゆりの湯）、いさわふれあいセンター（なごみの湯）、かすがい東保育所、石和第五保育所、境川児童館、はなぶさふれあい児童館（石和東小学校地区児童館）、御坂児童センター、一宮児童館（学童保育室）、八代児童センター（学童保育室）、春日居児童センター |
| 産業観光部 | 八代地域振興交流センター（八代農産物直売所）、八代農産物加工センター、境川地域振興交流センター、春日居産地形成促進施設、芦川農産物直売所、芦川活性化交流施設、石和温泉駅前観光案内所、すずらんの里、兜造り茅葺古民家「藤原邸」 |
| 建設部 | 八代増田ふれあい広場、近津ふれあい公園、石和小林公園、石和温泉駅前公園、八代ふれあい健康広場、みさか桃源郷公園、八代ふるさと公園、八代南森之上多目的広場、リニアの見える丘・花鳥山一本杉公園 |
| 教育委員会 | スコレーセンター、スコレーパリオ、いちのみや桃の里ふれあい文化館、八代総合会館、若彦路ふれあいセンター、働く婦人の家、境川総合会館、境川スポーツセンター、芦川グリーンロッジ、芦川やすらぎの里、芦川スポーツ広場、芦川テニスコート、石和中央テニスコート、石和農村スポーツ広場、石和清流館、御坂花鳥の里スポーツ広場、御坂体育館、御坂テニスコート、御坂テニス&キッズ広場、御坂中央弓道場、御坂成田弓道場、いちのみや桃の里スポーツ公園、一宮スポーツ広場、若彦路ふれあいスポーツ館、八代中央スポーツ広場、八代中央水泳プール、八代南部スポーツ広場、境川弓道場、春日居スポーツ広場、春日居弓道場、八田御朱印公園 |

IV. 令和3年度教育訓練の実施

| 開催日 | 訓練 | 対象者 | 内容 |
|---------------------|--|------------------|-----------------------------|
| R3.4.5 | 令和3年度エコアクション21推進員の推薦（各部署へ依頼） | 各部署 | 各部署の令和3年度エコアクション21推進員の推薦依頼 |
| R3.5.21 | 令和3年度エコアクション21推進員説明会 | エコアクション21推進員 | EA21の概要及び年間スケジュールの説明 |
| R3.6.15～ | 令和3年度エコアクション21各種調査依頼 | 各部署・施設 | EA21に関する各種調査の依頼・取りまとめ |
| R4.1.20 | 令和3年度エコアクション21環境活動レポート(R2年度実績)の公表 | 全職員 市民 | 市ホームページにてEA21環境活動レポートの公表 |
| R4.2.8～ R4.2.9 | 令和3年度エコアクション21内部監査 | 対象部署・施設 | 対象部署・施設への内部監査の実施 |
| R4.2.14 | 市長説明 (審査の実施について) | 市長・副市長 | 中間審査の実施について、報告と説明 |
| R4.2.17 | 中間審査開始会議 | 市長・副市長 部長・支所長 | EA21中間審査の開始について報告 |
| R4.2.17～ R4.2.18 | 令和3年度エコアクション21中間審査 | 対象部署・施設 | EA21中間審査の実施 |
| R4.2.18 | 中間審査終了会議 | 市長・副市長 部長・支所長 | EA21中間審査について結果報告 |
| R4.2.25 | 令和3年度エコアクション21中間審査結果報告 (インフォメーションへ掲載) | 全職員 | EA21中間審査の結果報告をインフォメーションにて掲載 |

V. 令和3年度の実績について

1. 笛吹市役所の事務・事業に伴う環境負荷

令和3年度笛吹市温室効果ガス排出量実績

◆実績値

| | | 排出係数 | 平成25年度 [基準年] | 令和2年度 | 令和3年度 |
|---|----------------------|---|-----------------|------------|------------|
| | | | 7,871.56 | 9,345 | 10,049 |
| CO ₂ 排出量 (t-CO ₂) | | | | | |
| 各エネルギー 使用量 | ガソリン[ℓ] | 2.32 (t-CO ₂ /ℓ) | 243.95 | 163.44 | 168.63 |
| | 灯油[ℓ] | 2.49 (t-CO ₂ /ℓ) | 659.46 | 1194.49 | 1254.77 |
| | 軽油[ℓ] | 2.58 (t-CO ₂ /ℓ) | 56.46 | 52.19 | 56.00 |
| | A重油[ℓ] | 2.71 (t-CO ₂ /ℓ) | 105.69 | 631.45 | 830.31 |
| | LPG[m ³] | 6.22 (t-CO ₂ /m ³) | 312.52 | 472.93 | 473.62 |
| | 電気[kwh] | 0.486 (t-CO ₂ /kWh) | 6,334.05 | 6723.36 | 7147.81 |
| 水道[m ³] | | 0.59 (t-CO ₂ /m ³) | 103.76 | 91.18 | 106.64 |
| 街灯、防犯灯等[kwh] | | 0.486 (t-CO ₂ /kWh) | 55.67 | 15.6 | 11.78 |
| 用紙使用量 | | | 11,021,490 | 13,283,193 | 14,420,559 |
| 廃棄物排出量[kg] | | | | 417,882 | 371,532 |
| | 一般廃棄物 | | | 344,232 | 346,088 |
| | 産業廃棄物 | | | 73,650 | 25,444 |

※平成25年の数値は指定管理施設を含まない数値となります。

指定管理施設を含めた目標数値は次ページ参照となります。

◆排出量増加の要因

笛吹市役所では、「笛吹市地球温暖化対策実行計画（第1次：平成21年度～平成25年度、第2次：平成26年度～平成30年度、第3次：平成31・令和元年度～）」を策定し、市役所が行う事務事業から排出される温室効果ガス（主にCO₂）の削減に取り組み、率先して一事業所としての取組を推進してきました。

令和3年度の排出量実績は、令和2年度（9,345 t-CO₂）と比べ704t-CO₂（7.5%）の増加となっています。また、上記笛吹市地球温暖化対策実行計画にて定めた令和3年度の目標値（9,074 t-CO₂）と比べても975t-CO₂（10.7%）の増加となっています。これは指定管理施設による把握

できる対象数値の追加や、新型コロナウイルス感染症の影響により、閉館していた施設の再開、学校の登校日の増加が挙げられます。また、換気の励行による冷暖房使用量の増加、手洗いがいの徹底による水道使用量の増加も要因の一つであります。今後、新型コロナウイルス感染症対策と省エネルギーを同時に実現していくためにも、個々のエネルギーの使用環境を見直し、引き続き足元からCO₂排出量を削減するよう努めてまいります。

令和3年度太陽光発電によるCO₂削減量

◆設置場所

本館・市民窓口館・学びの杜みさか・御坂児童センター・かすがい東保育所・消防本部・春日居東保育所・一宮給食センター・春日居支所・石和温泉駅自由通路・市内小中学校（芦川小除く18校）

◆発電量合計

《令和3年度》

発電量合計・・・・・・・・・・ 498,513 Kwh

CO₂削減量・・・・・・・・・・ 242.2 t-CO₂

電気使用量のうち太陽光発電で賄った割合・・・ 12.0 %

「地球温暖化対策実行計画」

二酸化炭素排出量については、笛吹市地球温暖化対策実行計画と連動させているため、全庁的な年間合計排出量を示します。

なお、当該実行計画は平成30年度で計画期間が満了したため、令和元年度より「第3次 笛吹市地球温暖化対策実行計画」を制定し、温室効果ガスの排出抑制に取り組んでいます。

◆基準年度及び計画期間について

笛吹市役所の第3次実行計画の基準年度及び期間は、次のとおりとします。

※ただし、国や県の「地球温暖化対策計画」の進捗状況、目標の達成状況、その他の状況などにより、必要に応じて見直し・改定を行うこととします。

基準年度：平成25（2013）年度

計画期間：令和元年度から令和5年度までの5年間

◆二酸化炭素排出量削減目標

令和5（2023）年度までに笛吹市役所から排出される二酸化炭素（CO₂）総排出量を次のとおりとします。

二酸化炭素（CO₂）排出量：8,766 t-CO₂以下

※二酸化炭素排出係数は別表の通り定める（前ページ参照）。

2. 令和3年度環境基本計画に基づく取組と実績

笛吹市環境基本計画は笛吹市の環境を守り次世代へ受け継いでいくため、平成23年度に策定いたしました。令和3年度からは第2次計画に入っており、この環境基本計画に基づいた取組事項に関して令和3年度の実績を以下の通りまとめました。

●豊かな自然と人が共生するまち

実績例

- ・農業塾等の学習会を41回実施し、延べ1,339人が参加した。
- ・学校給食において地元農産物を使用する割合が43%へ増加した。
- ・市内において河川の清掃活動が3回行われ、延べ322人が清掃に参加した。

●安心して健康的に暮らせるまち

実績例

- ・「野焼き」に関する苦情件数は44件であった。
- ・生活排水処理率が84%へ増加した。
- ・容器包装廃棄物分別収集量が373.28t、ミックスペーパーの分別収集量が457.56tと令和2年度より増加しており、分別意識の向上が数値に表れている。
- ・アダプトプログラムの登録数は8団体268人であり、公共の場所の定期的な清掃活動を実施している。

●快適で文化的な空間の広がるまち

実績例

- ・笛吹みんなの広場が竣工されるなど、公園・緑地数が29箇所増加した。
- ・都市公園面積が51.10haへ増加した。
- ・文化財・文化施設を活用したイベントが11回開催され、延べ164人が参加した。

●地球環境の保全に貢献するまち

実績例

- ・市営バスを延べ17,376人、デマンドタクシーを延べ6,060人が利用した。
- ・公用車の更新時に低公害・低燃費のエコカーを積極的に導入していく。

●自ら動き環境保全に取り組むまちづくり

実績例

- ・やまなしエコティーチャーによる出前講座を市内の小学校3校に対し実施し、子どもたちへの環境意識の向上を図った。
- ・環境関連図書数を市内の図書館へ延べ2,204冊配置している。
- ・市役所におけるグリーン購入の割合が100%であった。

VI. 令和3年度環境関連法規への違反・訴訟の有無

笛吹市では令和3年度に環境関連の法律違反、訴訟はありませんでした。また、事務事業において使用している消毒薬などの化学物質についても法令に基づき適正に管理しています。

公害等苦情件数（過去3年）

| 公害等の種類 | 平成31・ 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 |
|--------|----------------|-------|-------|
| 水質汚濁 | 11件 | 7件 | 15件 |
| 騒音 | 17件 | 25件 | 24件 |
| 振動 | 2件 | 0件 | 4件 |
| 悪臭 | 15件 | 18件 | 20件 |
| 野焼き | 49件 | 61件 | 44件 |
| その他 | 0件 | 2件 | 0件 |
| 合計 | 94件 | 113件 | 107件 |

※野焼きに関しては、農業に関する内容のものも含まれています。

Ⅶ. 令和 4 年度教育訓練の実施

| 開催日 | 訓練 | 対象者 | 内容 |
|--------------|-------------------------------|---------|--------------------------------|
| R4.4.11 | 令和 4 年度推進員の推薦 (各部署へ依頼) | 各部署 | 各部署の令和 4 年度 推進員の推薦依頼 |
| R4.6.1 | 令和 4 年度推進員説明会 | 推進員 | 活動内容及び年間スケ ジュールの説明 |
| R4.6.15～ | 令和 4 年度各種調査依頼 | 各部署・施設 | 各種調査の依頼・取りま とめ |
| R5.2.6/14/15 | 令和 4 年度環境活動に対する 内部監査 | 対象部署・施設 | 対象部署への 内部監査の実施 |
| R5.3.3 | 市長説明 (審査の実施について) | 市長・副市長 | 内部監査の実施につい て、報告と説明 |
| R5.3.6 | 環境活動レポートの公表 (インフォメーションへ掲載) | 全職員 | 環境活動レポートをイン フォメーションにて 掲載 |

Ⅷ. 令和 4 年度の実績について

令和 4 年度の数値は令和 5 年 3 月 3 1 日までの数値が判明し、取りまとめ次第掲載します。

Ⅸ. 令和4年度笛吹市役所の環境活動計画・目標

令和4年度は設定した環境目標の達成に向けて、職員一人ひとりが意識をもって行動するために、全庁的な取組項目（庁内全体の活動計画）と各課独自の取組事項（各課環境活動目標）を定めそれぞれの計画・目標に基づき取組を推進しました。

●全庁的な取組内容例（庁内全体の活動計画）

【電気使用量の削減】

- ・始業前、昼休み、残業時等不要な照明は消灯します。
- ・適正な冷暖房のゆとり設定を行います。
- ・クールビズ、ウォームビズを実施します。
- ・パソコンの省エネモード等を利用し、消費電力を削減します。

【事務用品等の削減】

- ・事務用品は計画的に購入し、適正な在庫管理を行います。
- ・詰め替え可能製品を使用し、使い捨て製品の購入を控えます。
- ・環境配慮物品（グリーン購入）を積極的に行います。
- ・ファイル、フォルダーの再利用に努めます。

【燃料使用量の削減】

- ・公用車の購入は電気自動車やハイブリット車など低燃費車の導入に努めます。
- ・アイドリングストップを実施します。
- ・公用車の急発進、急加速をしないように努めます。
- ・車内に不要な荷物を積まないようにします。

【施設に関する環境配慮】

- ・省エネ型空調・照明設備の導入に努めます。
- ・水道の使用時等日常的な節水を心がけます。
- ・定期的な空調機等の設備の清掃点検を行い省エネを心がけます。
- ・騒音、振動、悪臭を伴う事務、事業等周辺に配慮します。

【用紙類使用量の削減】

- ・プリンタ、コピーは可能な限り両面印刷とします。
- ・利用可能な用紙の裏面を使用します（印刷物、カレンダー等）
- ・ミスコピーの削減に努めます。
- ・庁内グループウェア等を利用し、ペーパーレス化を図ります。

【廃棄物排出量の削減】

- ・可燃ゴミの減量に努めます。
- ・ゴミの分別を徹底します。
- ・ゴミの処分については適正処分を必ず行います。

【その他】

- ・PC及び家電リサイクル法対象品目の適正処理を行います。
- ・化学薬品等の適正管理及び適正廃棄を行います。
- ・業務上関係のある環境関連法令等を理解し遵守します。
- ・庁内グループウェア等を通じ環境保全に関する情報の共有化に努めます。

●令和4年度の各課における取組内容例（各課環境活動目標・計画）

| | 部署 | 目標 | 達成状況・進捗状況 |
|-----|---------|--|---|
| 総務部 | 総務課 | ①ペーパーレスの実施 ②文書廃棄における適切な分別の指導 ③定時退庁・クールビズ・ウォームビズの実施 | ①電子決裁の導入に伴い、例年と比べて、紙の使用量が大幅に削減できている。 ②6月の文書廃棄では、職員に対して事前に分別のアナウンスを行うだけでなく、廃棄場所に総務課職員が常駐し、個別に分別の指導を行った。 ③選挙の執行等に伴い、定時退庁の完全実施は困難であるが、クールビズ・ウォームビズについては率先して取組を行い、消費電力の削減に努めている。 |
| | 防災危機管理課 | 昨年度の消防施設、消防車両の燃料消費量ガソリン月5310、軽油月6000、灯油月720であったので、燃料消費量3%減に改善する。 | 現在までの燃料消費量の消費を計算すると、目標数値を達成している。このままの数値を維持すれば、今年度の目標を達成できる見込みである。 |
| | 税務課 | 償却資産申告、確定申告における電子申告利用を推進し、紙使用量の削減につなげる。 | 1月からの償却資産申告、2月からの確定申告に向けて広報紙やホームページにおいて利用を呼び掛けている。 |
| | 収税課 | 可燃物用ゴミ袋使用料の5%削減（前年比） | ゴミを減らそうと課員全員で意識しており、ゴミ袋の削減に繋がっている。 |
| | 管財課 | ①施設の節電 冷暖房の控えめの温度設定や、こまめな消灯 ②公用車の集中管理により、公用車台数の削減を図る | ①令和4年10月までの電気使用量291,110kwh 令和3年10月までの電気使用量256,392kwh 令和4年度から市民窓口館と保健福祉館の電気メーターが統合されたことによる増加のほか、コロナ対策のための換気、各種コールセンターの開設による会議室稼働率の上昇により、節電の取り組みは実施しているが電気使用量は大幅に増加した。 ②車両の状況把握が効率化され、今年度これまでに、老朽化した6台の公用車を削減した。 |

| | 部署 | 今年度の目標 | 達成状況・進捗状況 |
|-----------|-------------|--|---|
| 総合 政策部 | 情報 システム課 | <p>①物理パソコンでの運用だと現地での作業が必須になり車移動が増えるため、シンクライアント端末での運用を促進する。</p> <p>②昨年度の公用車の走行距離が2台合計で2,154kmだったので、今年度は2,100km以下を目指す。</p> | <p>①スペック等の特殊な事由がなければ、シンクライアントでの運用を依頼している。</p> <p>②10月末時点で合計走行距離は1,088kmであり、今年度の目標2,100km以下達成範囲内にある。(前年同期合計:1,288km)</p> |
| | 企画課 | <p>①残業時間の削減による、エネルギー消費の削減。昨年度の総時間外1,539時間であったので削減を目指す。</p> <p>②現場確認及び現場対応時に公用車を使い、省エネ運転やアイドリングストップを用いて燃費向上による燃料の消費を抑える。</p> <p>③広報紙の作成において、掲載情報を精査し、スリム化をすることにより紙の削減をする。</p> | <p>①9月までの総時間外は、1,007時間であり月平均にすると167.8時間となり、平均から割り出した今年度の総時間外は、2013.6時間となり現状のままでは、達成が難しい。</p> <p>②現在までのところ、公用車の使用及び省エネ運転を意識し行われている。また、アイドリングストップ車を可能な限り使用する意識も高くもっているため、今年度の目標を達成できる見込みである。</p> <p>③現在までの発行部数は、例年同様となっているが、内容のスリム化により、紙の使用は減少傾向にあるため、今年度の目標を達成できる見込みである。</p> |
| | 政策課 | 節電に取り組む | <p>夏季、冬季ともに空調設備の温度調整を細かく設定している。</p> <p>昼食時間は執務室の照明を消灯している。</p> |
| | 財政課 | <p>①予算編成、予算管理に関すること： コピー用紙使用100,000枚</p> <p>②地方交付税・公会計・地方債に関すること： コピー用紙使用45,000枚</p> | <p>①各課からの提出物など、データ化するようにしている。不要な印刷はしない。両面印刷の徹底。コピー用紙の使用削減を行っている。今年度は使用枚数を昨年より抑えられる見込みである。</p> <p>②各課からの提出物など、データ化するようにしている。不要な印刷はしない。両面印刷の徹底。コピー用紙の使用削減を行っている。今年度は使用枚数を昨年より抑えられる見込みである。</p> |
| | 会計課 | 印刷物の枚数を抑える。1箱の使用枚数を2か月⇒3カ月にしていく。 | <ul style="list-style-type: none"> ・両面印刷を実施 ・ミスプリントを無くす |

| | 部署 | 今年度の目標 | 達成状況・進捗状況 |
|-----------|-------------|--|---|
| 市民 環境部 | 戸籍住民課 | マルチコピー機の利用率向上により、窓口で使用する申請書の減少を目指す。 | 9 月末までのマルチコピー機利用率を計算すると、全体証明書取得数の 34% で、前年度から比べると上がったため今年度の目標を達成できる見込みである。 |
| | 環境推進課 | 公用車の利用を減らし、前年度比で 5% の走行距離削減を目指す。 ※前年度 ミニキャブ 15,367 k m (月平均 約 1281 k m) ハイゼット 6,511 k m (月平均 約 543 k m) | 10 月末時点での走行距離は ミニキャブ…8,887 k m (月平均 約 1,270 k m) ハイゼット…4,186 k m (月平均 約 598 k m) 前年度の平均走行距離と比較すると 2% の増加となっており、目標達成できない見込みとなっているため、目標達成に向け、更なる努力が必要である。 |
| | 国民健康 保険課 | ①医療給付 ・1 人あたりの年間保険給付費を前年度並みにする ・ジェネリック医薬品使用割合を前年度並みにする ②高額療養費支給申請の簡素化 ③公用車走行距離を前年度並みとする | ①・1 人当たりの年間保険給付費… 今年度 25,930 円/月 令和 3 年度 26,185 円/月 このままの数字を維持すれば、達成見込み。 ・ジェネリック医薬品使用割合… 今年度 82.4%/月 令和 3 年度 82.1%/月 このままの数字を維持すれば、達成見込み。 ②今年度現在までの高額療養費支給申請書 発送件数は 811 件であり、令和 3 年度は 3661 件であった。このままの数値を維持すれば、今年度の目標を達成できる見込みである。 ③今年度現在までの公用車走行距離の 1 ヶ月あたりの平均走行距離は 264 km であり、令和 3 年度は 353 km であった。このままの数値を維持すれば、今年度の目標を達成できる見込みである。 |
| | 市民活動 支援課 | ①窓口業務 ②市営温泉施設管理 ③相談事業等 | ①昼食時間の執務室の照明の消灯を行っている。 空調設備の温度調整を細かく行っている。 ②燃料費等の高騰もあり、節電・省燃費の指示し実施している。 ③担当職員に相談室の照明消灯及び空調設備の温度調整を細かく行っている。 |
| 産業 観光部 | 農林振興課 | ①指定管理施設のエネルギー消費量削減 ②公用車利用時の環境への配慮 | ①指定管理施設へ節電の呼びかけを継続的に行っているため、今年度の目標を達成できる見込みがある。 ②アイドリングストップや急発進の抑制を実施しているため、今年度の目標を達成できる見込みがある。 |

| | 部署 | 今年度の目標 | 達成状況・進捗状況 |
|-----------|--------------|--|---|
| 産業 観光部 | 農林土木課 | 昨年度の公用車の燃費がガソリン1ℓあたり平均13.8kmであったので、今年度は1ℓあたり平均14kmに改善する。 | 現在までの公用車の燃費を計算すると、1ℓあたり11kmで目標数値を達成できない見込みである。林道事業及び県営事業において、山間部の現場に行くことが多いことから、優先的に使用しているため、燃費の向上に繋がらなかったことが原因である。 |
| | 観光商工課 | ①イベント開催時のごみの分別、持ち帰り ②施設のエネルギー消費量削減 ③公用車利用時の環境への配慮 | ①イベント時に参加者に呼びかけを行っている。また、飲食の出店を取りやめていることもあり、ごみの削減に繋がっており、今年度の目標を達成できる見込みである。 ②指定管理施設への呼びかけを行っているため、今年度の目標を達成できる見込みである。 ③課員がアイドリングストップ等を心掛けているため、今年度の目標を達成できる見込みである。 |
| | 農業委員会 事務局 | ①公用車の利用時の環境への配慮をする。 ②仕事の効率を上げて時間外勤務を削減する。 | ①現地確認公用車の利用に際しては、アイドリングストップや急発進急加速の抑制、省エネ運転を心がけている。 ②農業委員会サポートシステムへの移行に伴い、事務処理件数が増えた。 |
| 保健 福祉部 | 福祉総務課 | 昨年度の電力消費が134,941kwhであったので、今年度は1%削減できるようにする。 | 4月～5月については、7%削減できていた。6月以降については、市民窓口館と電力設備が統合されたため、数値の比較は出来なくなったが、引き続き削減に努めていく。 |
| | 障害福祉課 | ①コピー用紙の使用枚数の削減。 ZOOM等を活用しオンライン会議でペーパーレス化を推進する。 ②業務の効率化を図り時間外勤務を5%削減。 | ①印刷の際は、サイズや内容を確認し、印刷ミスの削減に努めている。ZOOM等を活用しペーパーレス化の導入、必要資料は、両面コピーや誤字脱字などを確認して無駄な印刷物を増やさないよう注意している。 ②業務の効率化、見直し等を行い、適正かつ時短できる事務処理を実施する。 |
| | 長寿支援課 | ①コピー用紙の使用枚数削減 ②公用車利用時のエコドライブの実施 | ①会議の資料については、両面コピーを行なっている。誤字脱字などを確認して無駄な印刷物を増やさないよう注意している。 ②近い所の訪問時には、徒歩や自転車の利用を心がけたり、何件か行く場合は、近い地区を回るようにしている。 |
| | 介護保険課 | トナー、コピー用紙の削減と節電の徹底 | 事業者連絡会については、今年度実施したものはWEB会議での実施となり、資料として配布していたコピー用紙等は電子メールでの配布とした。 |

| | 部署 | 今年度の目標 | 達成状況・進捗状況 |
|---------|----------|--|--|
| 保健福祉部 | 健康づくり課 | ①昨年度より時間外を減らす。(R3 度 5868 時間)。時間外を減らすことで、節電につなげる。 ②コピー用紙の使用枚数を削減する。廃棄物の減量とリサイクルに取り組む。 | ①業務の効率化、見直し等を行い、適正かつ時短できる事務処理を実施している。 ②資料印刷の際は、印刷サイズや内容を確認し、印刷ミスの削減に努めている。機密書類等は可能な限り、シュレッターを利用し、ミックスペーパーとして資源化する。 |
| | 生活援護課 | ①令和 3 年度寄付実績が 1281 キロだったため、5%増の 1345 キロを目標とする。 ②令和 3 年度時間外勤務実績 1075 時間の 5%減の 1021 時間を目標とする。 | ①現状 201 キロだが、年末に向け増加する見込みである。 生活困窮者支援が広まっていることで、NPO や社協にも食料寄付が分散していることも原因と考えられる。 ②令和 4 年 10 月時点で 671 時間であり、前年度同時期より多くなっている。新規申請数の増加や 5 万円給付事業の開始が原因として考えられる。 |
| 子供すこやか部 | 子育て支援課 | 窓口業務において、書かない窓口の実現に向け、他自治体の取組に関する情報等を収集する。 | 情報等の収集に至らない。 |
| | 保育課 | 公立保育所（指定管理保育所除く）において「環境教室」を 1 回以上開催する。 | 環境教室の開催については、開催 0 回。 新型コロナの感染が拡大している状況を受け、開催を予定していたが園児等の健康を第一に考え中止した。 |
| 建設部 | 建設総務課 | ①現場対応や現場確認の際、省エネ運転を心がける ②グリーンマーク製品の購入率を高める | ①急な現場対応も多いが、最短ルートで向かい、安全運転を心がけている。 ②カタログにグリーンマーク製品がある場合は、優先して購入している。 |
| | 土木課 | 排出ガス・消費燃料の削減を行う。 | 現場へ出向く際には乗り合わせをするなど、排ガス、消費燃料の削減に努めているが、地域要望が多く現場へ出る機会が多いため難しい。 |
| | まちづくり整備課 | ①公園施設の電灯や設備機器を省エネ製品を採用し、省エネ化をはかる。 ②公用車のガソリン消費を抑える。 | ①石和小林公園や石和温泉駅公園の電灯改修工事で水銀灯から LED 灯へ変更した。 ②現地立ち合い等で公用車を使用する際は、目的地まで最短ルートを選択している。 |

| | 部署 | 今年度の目標 | 達成状況・進捗状況 |
|-----------|-------|---|--|
| 教育 委員会 | 教育総務課 | ①コピー用紙の使用枚数を対前年度比で5%削減する。 ②公用車の燃費を改善する。 ③学校施設の照明器具をLED化することで省エネ化を図る。 ④各学校の空調機器の室外機を四半期ごとに点検する。 | ①昨年度と比較し、令和4年度は内部情報システムを導入したこともあり、9月末現在で月々約2,000枚程度使用枚数が減少している。現時点では5%削減の目標が達成できる見込みである。 今後も継続してコピー枚数の削減を呼びかけるなど、両面印刷及び文書の電子化を積極的に行い、使用量の軽減に努めたい。 ②昨年度公用車の燃費は1ℓあたり12.4kmであった。 今年度も昨年度並みを目標としている。 今後も公用車を適正に利用するよう各課に周知し、燃費の改善に努めたい。 ③今年度改修を予定している一宮西小学校、石和北小学校の普通教室について、照明器具のLED化の工事を進めている。工事は年度内で完成するため目標を達成する見込みである。 ④現時点で、各学校から四半期ごとに点検報告を出してもらっているため、今年度も目標を達成できる見込みである。 |
| | 学校教育課 | ペーパーレス化 | ペーパーレス化を継続中。コピー機近くへ箱を用意し、裏紙に使えるものを入れ、裏紙使用実施。コピー用紙使用量の削減が見込まれる。 |
| | 生涯学習課 | 体育施設の夜間照明をLED化にする。 | 市内全体育施設の夜間照明をLED照明に変えることができた。 |
| | 図書館 | ①イベントチラシを工夫し、最低限度の印刷枚数にする（用紙使用枚数を減らす） ②公用車の使用（乗り合わせの徹底） ③こまめな消灯（電気使用量の減） | ①イベントは、ほぼコロナ前の状況にもどつつあるが、10月末現在では、昨年度の同時期より使用枚数を下まわっている。 ②会議、出張等は増えつつあるが、乗り合わせの徹底により、昨年度の同時期より走行距離はおさえられている。 ③（図書館単独での使用料は算出していないので不明だが）節電を心がけ声掛けしている。 |

| | 部署 | 今年度の目標 | 達成状況・進捗状況 |
|-------|--------------|--|---|
| 教育委員会 | 文化財課 | ①天然記念物の樹勢確認による枯死防止 ②史跡の除草対象面積 71,502 m ² の定期的除草管理 ③春日居郷土館のこまめな消灯の実施 | ①天然記念物の巡視を月1回のペースで行い、弱っているものについては樹木医の判断を仰いだ。「下黒駒の大ヒイラギ」「称願寺のサクラ」は管理者も立会い、今後の管理方法についての確認を行った。 ②甲斐国分寺跡では11月までに5回の除草を実施し、適切に管理した。草の勢いが強く、委託では除草が間に合わない部分もあるため、乗用草刈り機を更新し対応していく。 ③10月までの電気使用量は37,076kWhで昨年比109.1%となっている。コロナによる行動制限が解除されて観覧者が増加した影響もあるが、引き続き節電に努めたい。 |
| 公営企業部 | 業務課 企業会計課 | コピー用紙の購入量を昨年度の298,500枚より減らし、290,000枚を目標とする。 | 4月から10月までのコピー用紙購入量は160,500枚であり、月の平均購入量はおおよそ23,000枚である。このままの数値を維持すれば、今年度の目標を達成できる見込みである。 |
| | 水道課 | ①漏水件数は過去3年間平均で約100件ある。漏水した場合の迅速な対応を心がける。 ②水道施設の維持管理。広域的な断水を起こさないようにする。 | ①修繕件数101件。迅速な対応が実施できている。 ②施設修繕20件。断水等も限りなく少なく実施できている。 |
| | 下水道課 | 「下水道課新規接続240件以上」を目標とする。新規接続を増やし、公衆衛生の向上と公共用水域の保全に努める。 | 10月末までの接続件数が165件であり、10月までの目標数値を達成している。(1ヶ月平均20件)このままの数値を維持すれば、今年度の目標を達成できる見込みである。 |
| | 議会事務局 | 今年度中にタブレットを導入し、ペーパーレス化を図っていく。 | 半導体等の関係で納入見込が立たなかったが、年度内に導入できる見込みとなった。 |

| | 部署 | 今年度の目標 | 達成状況・進捗状況 |
|------|------|---|---|
| 消防本部 | 管理課 | 庁舎電気代・ガス代について | 電気代・ガス代共に10月請求分までしかないが、昨年度で増加している。単価が上がっているが、これから年度末にかけて、再度職員に節約の周知を行う。 |
| 支所 | 御坂支所 | 支所の電力消費量については、前々年度：104,985kwh、前年度：106,250kwhと、微増している。今年度は節電に心がけ、2%減を目指す。 | 節電を心掛けているが、コロナによる施設利用制限が解除され、学びの杜みさかの利用回数が増加している。これにより、前年度と比較し、消費量が増加している状況である。 (R3:226回 R4:391回 ※4~10月まで) |
| | 一宮支所 | ①紙の削減 ②文具、事務用品等の使用量削減 ③節電・節水に心がけ、支所の電力消費量・水道使用量の削減を目指す。 ④エコドライブを心がけ、会議等出張には乗り合わせを行う。 | ①9月までの使用量を昨年度ベース(27,319枚)今年度(35,629枚)で確認すると23.3%と増加傾向である。資料等の作成については、極力両面もしくはペーパーレス化を図り、紙の使用について節約等の意識向上を持たすことを心掛けている。 ②文書廃棄時に溶解する綴り以外のチューブファイル等を再利用しているため。 ③水道使用量については9月合計対比で前年度:159m ³ 、今年度:126m ³ 使用しており、約21%と節水されている。 ・電気使用量については9月合計対比で前年度:42,436kwh、今年度:43,062kwh使用しており、約1.5%と微増である。これは、コロナの影響もあり、各種団体が会議室の利用回数を増やしている影響も考えられるためである。職員としては、今後も引き続き節水・節電の意識を維持していくこととする。 ④公用車の走行距離数が9月合計対比前年度:2,984Km、今年度:4,041Kmと約35.4%と増加している。引き続き職員への意識向上を心掛ける。 |
| | 八代支所 | ①電気使用量削減に関する取組 ②文具・事務用品等の使用量削減に関する取組 | ①本年度の10月分までの電気使用量を前年度と比べると約13,600kwh減少している。 ②現在精算が完了している本年度8月分までの用紙使用量を前年度と比べると約1,000枚減少している。 |

| | 部署 | 今年度の目標 | 達成状況・進捗状況 |
|----|-------|-------------------------------|--|
| 支所 | 境川支所 | ①支所の燃料費（灯油代）の削減 ②支所の電気代の削減 | ①燃料費（灯油代）については、冬季での使用となるため、現時点においては未だ使用しておらず、比較できない。 ②現在は10月請求分までしかないが、昨年比で微減している。これから年度末にかけて、再度職員間で節約意識向上を呼び掛け、更に削減を図る。 |
| | 春日居支所 | 支所の電力使用量、水道使用量の削減に関する取組 | 水道使用量については、昨年度の同時期と比較すると153 m ³ から144 m ³ で5.8%減少となっている。電力使用量については、11月時点で支所自体の使用量は微減しているものの、あぐり情報ステーションについてはコロナによる利用制限の解除により施設利用が大幅に増加したため、使用量も増加となり、全体としては増加となっている。 |
| | 芦川支所 | 公用車利用時の環境への配慮 | アイドリングストップや急発進の抑制を実施しているため、今年度の目標を達成できる見込みがある。 |

X. 市長による全体評価と見直し結果

笛吹市では、本市に残る自然や歴史、文化を次世代に引き継いでいき、幅広い環境問題に対応するため「笛吹市地球温暖化対策実行計画」「笛吹市環境基本計画」をもとに市(行政)、市民、民間団体、事業者等の全ての主体が一体となり連携を図りながら、環境保全活動に取り組んでいます。

本市では環境方針をもとに、自然環境を保全し、地球温暖化の防止、循環型社会の構築を目指しています。5R活動等を通じた廃棄物の発生量の削減や分別の推進による資源の活用、省資源・省エネルギーの推進による二酸化炭素排出量の削減などに全職員が取り組んでいるところであります。また、エコティーチャーによる環境教室を行い子供たちへの環境への意識の向上を図っています。

笛吹市役所で以前から取り組んでいる「地球温暖化対策実行計画」の二酸化炭素排出量については、令和3年度が令和2年度に対し、7.5%増加となりました。これは、新型コロナウイルス感染症の影響により閉館していた施設の再開や、学校の登校日の増加が挙げられます。また、新型コロナウイルス感染症が蔓延する以前の令和元年度の排出量と比較しても1.61%の増加となっております。これは、指定管理施設における把握できる数値の追加、換気の励行による冷暖房使用量の増加、手洗いうがいの徹底による水道使用量の増加が要因として考えられます。

次年度には、令和5年度で計画期間が終了する「第3次笛吹市地球温暖化対策実行計画」を見直す時期となります。新型コロナウイルス感染症対策と省エネルギーを同時に実現できるよう、あらゆる業務で環境に配慮しながら環境への負荷の低減に向け、環境保全活動を行ってまいります。

今後も引き続き、市の目指す環境像「水・花・緑 彩り豊かな桃源郷 みんなで未来につなぐまち」の実現に向け、環境の保全と創造に関する様々な施策に取り組んでまいります。

笛吹市長 山下 政樹